

ひょうごふれあいランニングパトロール（兵庫県）



皆さんこんにちは。よろしくお願いします。防犯ボランティア団体の「ひょうごふれあいランニングパトロール」です。私は兵庫県の明石市を中心に活動しています。今井と、尼崎で活動しています丸岡と言います。よろしくお願いします。

今日は皆様に「ふれパト」をぜひ知って帰っていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。この格好、これが私たちがボランティアをするときの

格好です。この名前のとおりランニングパトロールですね。走りながら防犯活動をしております。もうほんとにこの格好でいつも行っています。夜も目立ちますんで非常に安全ですし、ライトをつけたりして走っています。寒くなってきましたら、ビブスなどを着て、厚着をした上で走っております。

それでは、ふれパトについて紹介していきたいと思います。「ひょうごふれあいランニングパトロール」を略称して、皆で「ふれパト」と言っております。このまま走って地域の安全を守るというところに、ふれあいという要素が加わっています。ふれあいって何なの？というところになるんですが、この後、説明する中でいっぱい出てきますので、ここでは省略させていただきます。

ここで皆様にお尋ねしたいと思います。全員の方に聞きたいんですが、先ほど2団体から青パトの紹介がありましたが、青パトを普段から乗られているという方、もしよかったら手を挙げていただけますか。どうですか。皆さんほとんどですね。ではもう1つお尋ねします。ふれパトに一度でも参加したことがあるという方、挙手をお願いします。若干事務局の方とアドバイザーの先生がおられますね。ありがとうございます。5、6名いましたね。よかったです。ちなみにこのフォーラムの前に、ふれパトを知っていたという方、いらっしゃるますか？結構いらっしゃるんですね。うれしいです。ありがとうございます。ほとんど警察の関係の方だと思われていますが、ありがとうございました。



では、スクリーンを使いながら、ふれパトってどういうものなのか、簡単に説明していきたいと思います。「着る、走る、あいさつ、立ち寄り、伝える」これが一連の流れですね。「着る」というのはこのTシャツを着て集まります。決まった場所に、何時からしますというのを事前に公表しまして、それを見た登録ランナーが集まって、あいさつとかをして、どこを回るか説明します。そして、約1キロを8分ペースで、ほんとにゆっくりジョギングします。危険がないようにゆっくり走りま

す。1回につき1時間程度5キロを走りましょうというのを、基本のルールで定めております。隊列は2列ですね。基本的に4名以上集まらなないと、ふれパトができません。やはり少人数ですと危険ですので、4名以上集まってやりましょうということにしております。そして、準備を整えまして走り出して行きますが、その時に声掛け、あいさつを行うんですが「おはようございます」とか夜でしたら「こんばんは」、あとは「パトロールしています」ということであいさつをしますと、通りすがりの方からいい返事をいただいて、そういったところでもふれあいが生まれるということになります。やはりいきなり声を掛けるとびっくりされるんで、その辺も注意しながら声掛けをしております。

続きまして「立ち寄る」ですね。「どこか公園とかに立ち寄って、防犯に努めましょう、警戒をしましょう」ということで、立ち寄るようにしています。だいたい2、3か所の公園に立ち寄ったり、交番にも寄ったりもしますが、ほとんど交番にいきなり行くと、皆さん巡回に出ておられてお会いすることができないんですが、あらかじめ大きな警察署とかには立ち寄ることを伝えておくと、対応してくださったり情報交換することができます。地域によって、立ち寄りの際にゴミ拾いとかをしております。そして、パトロールが終わりましたら「伝える」ということで、活動報告を発信しております。それを見ていろんなことをつなげていけるようにしております。



実際の活動人数、実績ですが、今3年目になりまして現在 503 名います。注目していただきたいのが、女性が何と3分の1にあたる 150 人以上いるということですね。やはりこれはふれパトの特性というか、いいところなんですけども、ランナーが集まってきますので、走りながらならパトロールしたいな、防犯活動したいなという女性が多くいます。

そして下の円グラフは世代です。こちらも高齢化という問題もあるんでしょうが、ちょうど30、40、50という働き盛りというか活発な世代がほとんどを占めているので、今後10年20年、下手したら30年安心してパトロールが続けられるのかなと思っております。あと、年々増えてきていますが、3年を迎えて登録者数が503人までになりました。現在、活動はコロナの影響で制限しているところもありまして、今年度は減っておりますが累計761回やっております。



地域や特性がいろいろあります。お手元の冊子と同じ写真になりますが、こういった楽しい写真もあります。左下ですが警察署に寄ったり、季節感のあるパトロールをしたり、夜の商店街を通ったりしています。楽しいところで、これはアイスクリームの写真が写っていますが、パトロールの後に、けがをして来られなかった方が夏場に差し入れを持ってきてくれたりして、いろいろと皆で楽しくやっている、これがまたふれあいにつながっています。楽しいところがパトロールのモチベ

ーションややる気につながるかなというふうに感じております。

コロナ禍でパトロールのやり方が大分変わってきました。本当にできない時もありますし、でもやっぱりコロナだからやりたいというところもあります。先ほど成和さん（成和校区自治連合会）が「コロナの中でも気をつけて新しいことやっている」とおっしゃっていましたが、私どももそういった形でやっておりますが、時間の都合もありますので、ここでは割愛させていただきます。ではこの後、地域でのもっと詳しい取組の説明を、丸岡さんをお願いしたいと思いますので、バトンタッチします。



それでは、パトロールの活動の計画の立案や実際の活動内容について、写真を用いて説明させていただきます。まずは、開催日と開催場所を公式のホームページと Facebook で告知をしまして、参加者を募ります。日時と場所については、各エリアのリーダーが各エリアのメンバーと事前に相談しまして、リーダーが決定をします。その後にパトロールするルートを検討するんですけども、ルートを検討する時は、兵庫県警から出ている犯罪発生マップを使いまして、例えばひったくり、痴漢、子供への声かけなど、過去の犯罪発生箇所がどこにあるかというところを気にしながら、その地図を用いてランニングのルートを設定します。およそ5キロを1時間ぐらいかけてパトロールするルートを決めます。

実際にパトロールをどのようにやっているかというところを、説明させてもらいたいと思います。集合場所は、駅であったり公園であったり、交番などをスタート地点に設定しています。集合場所には管轄している警察署や交番から警察の方にも来ていただいて、直近どんな犯罪が発生しているかなど地域ごとの生の情報をランニングの前にお話いただいています。その後にランニングで公園や小中学校、幼稚園、スーパー、コンビニというところを周回し、ランニングしながらパトロールをするという活動になっています。

その後に、ゴール地点に戻ってきまして、パトロール中にどんな気付きがあったかとか、ちょっとこういうところが悪いところだったかな、ちょっと危なかったかなというところなど反省点を話し、次回の日程をいつにしましょうというのを決めまして、活動としては完了になります。その後に活動報告という形で、ホームページと Facebook で活動内容を報告します。その後に、活動報告の内容を他の地域のメンバーやリーダーが見て、他の地域ではどういう活動をやって、どんな気付きがあって、どんな反省点があってというところを見まして、地域や時間帯が違っていると、注意点もいろいろ変わってきますので、別の地域の内容も参考にしながら、次の活動に活かすという形でパトロールを継続しています。

西宮尼崎エリアの取り組み



メンバーとの交流



私が活動している尼崎のエリアと隣接する西宮のエリアでも、お互いが行き来しながらパトロールしていますが、その活動の取組の実例として、公園に立ち寄った際には、ゴミ拾いなどもやっております。あとは、ブランコ、すべり台、ベンチに何か破損がないかというところも確認しながら、パトロールをしています。もし遊具やベンチに破損、損傷があった場合は、その地域を管轄する役所に連絡をしまして、実際に損傷箇所を伝えた後、翌月やその2か月後、同じ場所を回った時に「修理して直っているな。活動が実っているな。」というのを実感しながら継続して、パトロールをしています。また尼崎、西宮のエリアでは、平日午後の時間帯、小学生が下校する時間帯にパトロールをするように取り組んでいます。これについては、複数いるリーダーさんの中に、お仕事の都合で夜よりもむしろ平日の夕方の方が、都合が付きやすいという方が何人かおられまして、その方たちと協力しながら、不定期にはなりますが、小中学校の下校の時間帯の実施を継続してパトロールしています。

メンバーとの交流というところでは、ふれパトについては、参加するエリアを限定しておらず、自分の都合がつけば、兵庫県下の遠方のエリアでも参加できるということが特徴です。実際に、一番上の写真が神戸の三宮、元町、メリケンパークというところ。あと右側は、宝塚での写真。左の下については、尼崎城というところでの夜のパトロール時の写真です。各地でいろんなメンバーと交流しながら、地域の情報であったり、ランニング、マラソン大会の情報であったり、こんなアイテムがあるよとか、こんなグッズええでというところを話しながら、モチベーションを保ちながら継続してやっています。

ふれあい①



ふれあい②



メンバーとのふれあいというところでは、これは西宮の今津というところでのパトロールの写真を紹介します。真ん中の下の先頭を走っている方がリーダーなんですけど、この方はこのパトロールの回、ずっとニヤニヤしてしまっていて、何をニヤニヤしているのかなと思ったら、走った後にGPS機能を使ってどんなルートを走ったかが分かるんですが、この「走る」という漢字、これにするためにニヤニヤしながら走っていたそうです。ルートについては事前に知っている方もおられるんですけども、最終的にはリーダーが決められますので、リーダーが何回も何回も事前に練習して、この字になるように頑張ったそうです。「走」という字は、本当はもうちょっとここの部分が伸びているん

ですけど、ちょっと道を間違えて小さくなりました。こんなのも、ふれあいとして楽しみの1つとしてやっています。

次の写真は、尼崎の立花というところでやった活動です。この時は、途中にかき氷屋さんがあるんですが、夏場に1回だけ、今年も去年も活動の1つとして立ち寄りました。この日はすごい暑くて、ランナーとしてはこのかき氷がとっても楽しみでもあり、楽しみながらパトロールもしています。こういったことを挟みながら、ランニングパトロールを実施しています。実例としては以上です。ここで今井さんにバトンタッチします。

ふれパトからの繋がり①

・地域活動への参画

➤まちづくり協議会

➤青色パトロール車でのパトロール

➤ふれパト & 青パト合同パトロール

➤日本財団青パト配備事業



ふれパトからの繋がり②

・人と人との繋がり

➤世代や職種を超えた新たな関係

➤競技会やイベントへの参加

➤結婚式やふれパト旅行への参加

➤ふれパト中心の生活環境が生まれる



ご覧のとおり、いろんな取組方法があって、これがふれパトという感じなんですけども、兵庫県全域でパトロールしていますので、各地域の特性が生まれてきます。その中でつながりというのをすごく感じており、どんなつながりがあるかということを紹介したいと思います。これは私が活動した実例ですが、地域活動への参画ということで、地元でパトロールしていました。まちづくり協議会の活動の人たちから「一緒に地域活動してね」と言われ、まちづくり協議会（まち協）に入ることになり、運営チームに入りました。そこでは青パト活動をしていますので、私も青パト講習を受けて、実際に青パトでも活動しています。そして青パトも行い、ふれパトも行い、ということで、一回合同でパトロールしようかという話になりまして、上側に写真がありますけども、まち協の人たちと集まってパトロールをしたという実例があります。車で見る目線・ルートと、走って見る目線・ルートって全然違うんで、新たな発見があるなと感じております。パトロールが終わりましたら意見交換会をして、次につないでいっています。そしてこういったパトロールをふれパトの事務局に報告をしたら、事務局の方から「青パトもやっているんだね。財団とか事業とかあるから利用してみたらどう？」と言われ、問い合わせたところ、ちょうど青パトが古いから乗り換えようという話がありまして、運良く申請しましたら新しいパトカーを配備することができました。これは出発式の写真です。本当に地域とのつながりでここまで発展するんだなと、ふれパト様々だなというふうに、これは私の自慢になるんですが、こういった活動もありました。

もう1つ、本当に一番感じるのが、やはり人と人とのつながりですね。世代を越えて楽しめ、いろんなことが勉強になるというところで、団体みんなでリレーマラソンとかのイベントに出ています。上2つの写真がそうですね。左2つ下の写真は、神戸マラソンにみんなで参加して、走る前にこれだけ集まっています。下側は2018年、1年目の時。上側の真ん中の左の写真は、その次の年の分です。3倍くらい仲間が増えました。これもやはり楽しいモチベーションにつながるのかなというふうに感じております。もっと面白いのは、これ結婚式の写真なんですけど、右3枚。一番右下は花嫁さん。超ふれパトラブという、ふれパトが大好きな方なんです。で、「私の結婚式にみんなで来てください」ということで、結婚式場にこの格好で参加しました。（この防犯ボランティアフォーラムのコーディネーターの）中沼先生にもご一緒していただきまして、映っておられます。こういった

本当に楽しいつながり、楽しいことは何でもやって、大人のサークルみたいになってはいけないと思うんですが、こういったものも必要なのかなと感じております。

ふれパトの将来像・目指すは？

- ①地域へ根付く活動へ
自分たちは自分たちで守る
- ②兵庫県全域を制覇
スタンプラリー作っちゃう？笑
- ③全国46都道府県へ広める
兵庫県がモデルとなる



こうやってふれパトを続けていますが、やっぱり目的を持ってやりたいと感じておりまして、これは私たちの主観になるかもしれませんが、亀岡さん(亀岡防犯推進委員連絡協議会篠支部)や成和さん(成和校区自治連合会)の発表にもありまして「自分たちのまちは自分たちで守る」、私たちもこういうふうにしてやっていきたいと強く思っています。そして兵庫県全域を対象に活動していますので、兵庫県全41市町を制覇したいというところで、黄色で塗った所がパトロールしたところなんですけど、まだできていないところ(白色の所)がいっぱいありますので、こういったところに行ってやりたいと思っています。どこに行ってもいいので、それがふれパトのいいところです。兵庫県下を早いうちに制覇したいというふうに考えています。スライドに小さく「スタンプラリー作っちゃう？笑」と冗談で書いていますが、面白いと思うんですね。41市町のどこかにスタンプを設置してそこに行ってやるという、ちょっと楽しいモチベーションを持ちながらできるのかなと。笑いが入っていますけど、結構これいいことかなと思ったりしています。さらに、全国46都道府県へ広めたいという思いで動いておりまして、この兵庫県がモデルになって広がればいいのかなというふうに感じております。

最後になりましたが、私、最初に皆さんに「ふれパトに参加したことありますか？」とお聞きしましたが、ふれパトの最大もう1ついいところは、誰でも参加できるんですね。ですから皆さん、明石に来てもらってふれパトに参加できるんです。ぜひ、今はやりのGo To イート、Go To トラベル、Go To ふれパトということで、ぜひ参加していただきたいと思っております。そしてどんどん、ふれパトが広がり、皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っています。以上で発表を終わります。ありがとうございました。